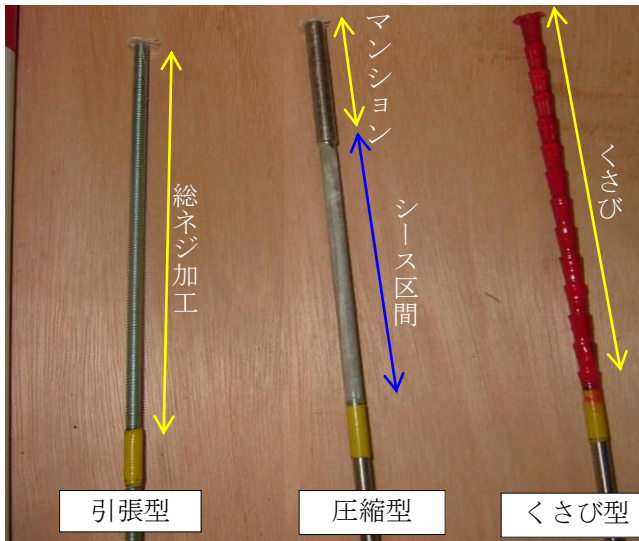


1.4.4 アンカー体の耐久性試験 (2010年7月27日現在)

写真のような模型による耐久性試験を開始してから2年と3ヶ月が経過し、引張型で1.5mm、圧縮型で0.3mm、くさび型で0.2mmの変位となっている。特にくさび型では約3.5ヶ月で0.2mm塑性変位した後は、くさび水平力と拘束材の反力が釣り合い、安定した状態にある。



tendon加工状況

tendon仕様

(試験仕様)

- ・ 吊り下げ荷重：31.8kgf
- ・ アンカー孔径：φ10mm
- ・ アンカー体長：15cm
- ・ tendon：φ6mm
- ・ 定着地盤の強度 $q_u=2\text{Mpa}$ (セメントミルク)
- ・ 試料型枠：φ300mm 紙型枠
- ・ 計測器：ダイヤルゲージ (1/100mm 読み)



観測状況

